

市内の魅力を見て歩いて再発見！



5

畠山氏 ゆかりのコース

かつて戦乱の舞台となつた鳥帽子形城
今は木々が茂り、時には鳥獣が迎えてくれる
自然豊かな城跡を散策してみませんか

DATA CHECK

コース距離	約4.8km
所要時間	約90分
消費カロリー	約200kcal

※公園内を45分程度散策したとして計算 >消費カロリーは体重60kgの人を基準に計算しています。

1 増福寺

増福寺は、この場所に隠居した畠山義深の法名（増福）にちなんだ寺号といわれています。この寺には、旧法（重要美術品等保存に関する法律）で指定された十一面観音立像があります。



◆境内に再現された高札（高札は江戸時代に民衆に法令などを知らせるため使われていました）



畠山義就
資料提供：国文学研究資料館

畠山義就

畠山氏は室町時代に代々河内国の守護を務め、強大な力をもっていました。ところが、義就の父、持国の家督相続で問題が起り、畠山氏は2派に分裂しました。義就是一方の旗頭として多くの戦いに参戦し、武勇を馳せました。

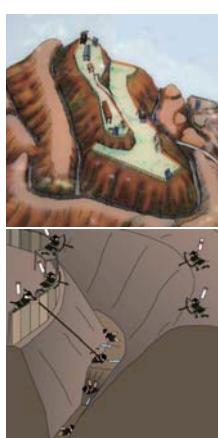
2 烏帽子形八幡神社

烏帽子形八幡神社は、本殿が文明12年（1480）に建立されたもので、現在国の重要文化財に指定されています。



■烏帽子形公園（烏帽子形城跡）

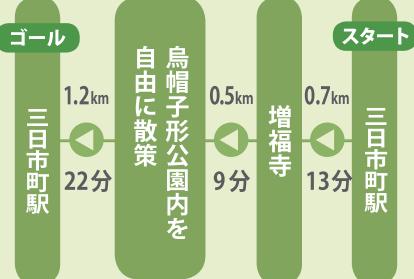
現在は、里山として親しまれている烏帽子形公園には、かつて河内国守護畠山氏の城があり、戦国時代には激しい戦いが繰り広げられました。現在でも空堀、土塁、曲輪（陣地）の跡を見る事ができます。中でも周囲を巡る大規模な空堀は山城としては珍しく、本史跡の特徴となっています。山城は、本年1月に、国史跡に指定されました。



※「烏帽子形城跡国史跡指定記念シンポジウム」が9月1日に開催されます。詳しくは22ページをご覧ください。

◆空堀は曲輪や土塁の上からの攻撃を容易にしました。

スタート地点の三日市町駅から畠山氏ゆかりの増福寺へ。境内には江戸時代の高札が再現されています。その後、烏帽子形八幡神社内では、しいの道を上って古墳広場に向かうと、そこは本丸広場とともにすばらしい眺望が楽しめます。ほかにも、こなう広場やわんぱく広場など広大な城跡を自由に散策してみましょう。運がよければ、野うさぎやめずらしい鳥に出会えるかもしれません。



コースを歩く時は、熱中症を予防するため、水分をこまめに補給しましょう。また、公園内は蚊が多いので、夏場は虫除けを持参したほうが良さそうです。